

令和4年度「船上山クラフト祭り」実施報告書

I 事業の概要

1 期日 令和4年12月10日(土) 日帰り

2 日程

12月10日(土)	
9:30	受付
10:00	出合いのつどい
10:15	スタートゲーム(ヒューストン) クラフト作成(それぞれ1人1点ずつ作っていただくことができる。 かごは1家族1つ) クリスマスリース、かご、ヒンメリ、ペンダント、まつぼっくりツリー、葉っぱのトートバッグ
12:00	食堂で昼食
12:45	クラフト作成(午前中で作成していないクラフトを作成)
14:30	クラフト作成終了後、感想用紙記入 各自解散



3 趣旨 自然物を使った工作をとおして、親子の絆を深めるとともに、船上山の自然に興味や関心を持つ。

4 対象 小学生とその保護者 募集定員 16組

5 応募者数 7組 20人

6 当日参加者数 7組 20人

7 学生ボランティア 5名(島根大学生)

8 参加費 1人 1,000円



II 実施状況

出合いのつどいでは、所長のあいさつ、指導員の自己紹介の後、島根大学から参加している学生ボランティアの紹介を行った。キャンペーンや意気込みを一言ずつ述べた後、クラフト祭りで作ることでできる作品の内容や、各ブースのクラフト作成時間の目安、同じ場所で活動できる定員数などを伝え、参加者が限られた時間の中で活動の見通しをもっていただけるように配慮した。小学生の参加者もいたため、けがが無いよう活動してもらうために、グルーガンの使い方や、館内を走らないようになど、安全面についての諸注意を行った。説明終了後、参加者が1つのブースに偏りすぎないようにするため、スタートゲームを行い、チャレンジが成功した家族から行きたいブースのところへ名前を記入してもらい、最初に取り掛かるクラフトの内容を決めていただいた。3~4回のチャレンジでほとんどの家族が成功されていたので、あまり時間をかけることなくクラフト活動にとりかかることができた。



体育館では、ペンダント、葉っぱのトートバッグ、まつぼっくりツリーのブースを設置した。まつぼっくりツリーも、ペンダントも細かい装飾を扱う作業が必要になることが多かったので、小学生には学生ボランティアがサポートしたり、家族同士で協力しあったりする姿が見られた。葉っぱのトートバッグは、主催事業で作っていただくのは初めてだったので普段作れない作品だけに大変人気であった。参加者の方々は、様々な大きさや形の葉っぱにアクリル絵の具で色をつけ、バッグに写し取る作業を楽しんでいた。

レクリエーションホールでは、ヒンメリ、クリスマスリースの作成ブースを設置した。ヒンメリも、船上山の主催事業では初めて作成するクラフトで、北欧のクリスマスの雰囲気を感じながら作ってもらうことができた。

小研修室では、つるで作るかごのブースを設置した。つるを曲げたり編み込んだりするのにながかりが必要なため作業に時間がかかったが、家族で協力しながら素敵なかごを作っていた。

各ブースともホワイトボードや、大きめの模造紙を使い、作り方の説明や手順を示し、見本作品を設置することで完成までの手順がわかりやすい掲示ができた。いくつかのブースでは安全面に配慮してけがの可能性のある道具を使うときは大人のみとするルールを設けて作品作りに取り組んでもらった。各家族それぞれが、素材の特徴を活かし素敵な作品を作っていただくことができ、どのブースでも参加された方の満足そうな表情が印象的であった。



Ⅲ 総括

Ⅰ アンケート結果

《参加者の満足度》

(参加者7組20名 家族ごとにアンケート 回収率86%)

事業全体の満足度:満足 6組 ※1組アンケート未回収

《参加者の感想》(抜粋)

- ・ いろいろな作りものができてすごく楽しかったです。
- ・ みんなで一緒にかご作りをさせてもらえてうれしかったです。
- ・ 家族で楽しい休日を過ごすことができました。

2 成果

- ・ 作品ごとにブースを分けて準備することで、参加者の方には密状態を避けながら、色々なクラフト作成を楽しんでもらうことができた。
- ・ 今回初めて主催事業で扱うクラフトがあり、普段は作ることのできない活動を体験していただくことができた。
- ・ どのブースにも掲示物や説明文があり、参加者の方に作品を作る際のイメージや手順が伝わりやすかった。



3 課題

- ・ 作成に時間を要するクラフトもあったので、じっくりと取り組んでもらえる時間を確保した方が良かった。
- ・ 募集人数に対し、参加人数がかなり少なかった。募集の人数を増やすための検討が必要。

